

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立木風小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-31-5984			氏名	町田 哲郎
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	「飲酒運転の根絶」「体罰撲滅」「情報セキュリティ対策の徹底」			
<u>取組の評価・改善点</u> ○ 年度初めに服務規律の厳正（飲酒運転・体罰の禁止・セクハラ・わいせつ行為の防止）について全職員に周知徹底することができた。体罰撲滅に向け、事例等を参照しながら、体罰と懲戒の区別をしっかりと認識するとともに、体罰の禁止宣言として誓うことができた。 ○ 学校情報セキュリティ方針を全職員で確認するとともに、教職員のすべてが教育センターの研修を受け、端末及び紙媒体のセキュリティ対策やUSB等の管理徹底の意識を高めることができた。					
7月	実施テーマ	「飲酒運転の根絶」「セクハラ・わいせつ行為の防止」「公金等の不正処理の防止」			
<u>取組の評価・改善点</u> ○ 市教委主催の不祥事防止対策研修会で得た、ワークショップの方法や研修資料を生かし、現職教育として「自分のタイプ」を職員のそれぞれが自己分析し、不祥事の類型化による当事者意識を醸成することができた。その後、「心と性に関するチェックシート」の活用まで行うことができ、不祥事も「他人事」ではなく、「自分事」として見つめ、どのように自己を高めていけばよいか、しっかりと研修することができた。 ○ 「公金等の不正処理」については、1学期後半に、教材費の取扱いについて、出納簿への記録の徹底や金銭の確実な保管について、管理職の方から、適宜、アナウンスし、注意を呼び掛けた。					
12月	実施テーマ	「飲酒運転の根絶」「体罰撲滅」「情報セキュリティ対策の徹底」			
<u>取組の評価・改善点</u> ○ 飲酒運転の根絶については、4月に行った校内ルールを継続して遵守することにした。 ○ 体罰に値する、「児童の心を傷つけてしまう教師の言葉遣い」などについて、全職員で振り返り、「気をつけたい7つの言動」として、目につきやすい場所に貼り紙として掲示している。 ○ 11月にスクールロイヤーを招いて、教職員の服務規律研修を行う予定であったが、できず、1月になって行うことができた。これまでの取組を振り返りながら、モラル向上、意識改善を図る良い機会となった。また、教職員が訴訟の対象となったときの対応の仕方など、不祥事を起こした場合の組織的なノウハウまで学ぶことができた。（1/31） ○ 学期末の成績処理における、情報機器取扱いのための校内研修を開き、情報の管理徹底を図ることができた。					
2 服務規律委員会					
委員会名	木風小服務規律委員会				
構成員	所属内委員（8名）、外部委員（2名 役職等：学校運営協議会委員）				

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	ウ	オ	カ	キ	ケ				
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。